正覚寺スケジュール

今後の感染症拡大の状況により内容が変更になる可能性があります。

お寺は毎日 9:00-17:00 に開いています。ぜひいつでも、お気楽にお立ち寄りください。

12 月

2 日・16 日｜木｜10:00-12:00 子そだてひろば

正覚寺の本堂で、あそんだり、おしゃべりしたり…！いつもはおんがくひろばを開いていますが、しばらくはプログラムができないので、本堂をただ解放しています。ご自由にどうぞ！
可能であれば住職たちによるいつもの音楽遊びもします。

12 日・13 日｜日・月｜13:30-15:15 報恩講法要

浄土真宗のお寺でもっとも大切な法要です。どなたもぜひご参加ください。詳しくは寺報裏面とはがきをご覧ください。

年末年始

普段通り 9 時 ~17 時に開いています。
大晦日と元日、2 日の 15:00 から本堂で住職がお経を拝読しています。皆様もご一緒しませんか？目指せ、ゆく年くる年！

1月

6 日・20 日｜木｜10:00-12:00 子そだてひろば

詳細は 12 月をご覧ください。

27 日｜木｜13:30 -15:00『歎異抄（たんにしょう）』を読む！

親鸞聖人の弟子の唯円（ゆいえん）さまがお書き残しくださいました『歎異抄』を住職と一緒に少しずつ読み進めます！
参加費：200 円（資料代）

正覚寺日誌

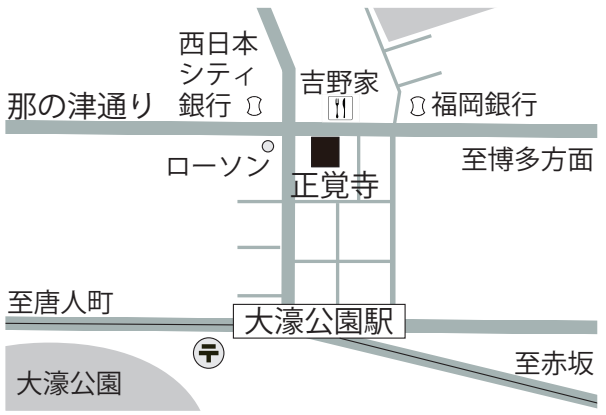
私事になりますが、10 月に無事に第二子が生まれました。お寺は益々賑やかに、そして忙しくなりそうです。今後ともみなさまどうぞよろしくお願いします！

さて、今回の表紙は、法然聖人のご生涯を描いた絵巻物より、真夜中に目から光を放ってお経の勉強をしている法然聖人のイラストです。聖人のただものでなさを表現するために、ところどころ面白い描写があり拝読するのがとても楽しいです！

2021 年もあっという間の一年でした！今号が今年最後のアムリタとなります。皆さま良いお年をお迎えください。

Access

地下鉄「大濠公園駅」より徒歩 5 分
西鉄バス「港二丁目」より徒歩 1 分



浄土真宗本願寺派
海見山 正覚寺

〒810-0074
福岡市中央区大手門 3-7-19
Tel　092-751-7074
Mail　syougakuji1640@gmail.com

正覚寺寺報『amrta』vol.19　2021 年 11 月発行　文章・イラスト：賞雅曜哲　デザイン・文章：賞雅裕子

amṛta
アムリタ

正覚寺寺報 vol.19
- 住職コラム「幸せについての二つの考え」
- 2021 年 12 月 -2022 年 1 月　正覚寺スケジュール

住職コラム

「幸せについての二つの考え」

「安楽であれ、安穏であれ
　一切衆生は幸福であれ」
　慈経（じきょう）より（魚川祐司訳）

この言葉はスリランカやタイの仏教徒たちが大切にしている慈経というお経の言葉です。仏さまや仏教徒の願いは、全ての命が安らかで、幸福であることです。

昔、ハワイで世界哲学者会議が開催され、その中で幸福についてのシンポジウムが開かれました。その時アメリカの牧師が「幸せとは不幸の原因を取り除くところにある」と主張しました。それに対してインドの大学の博士が「幸せとは幸せを感ずる心の眼が開けるところにある」と言いました。皆さんは二つの意見を聞いて、どのように思われますか？

キリスト教の人たちが、病院や学校を作るなど、社会運動の分野で素晴らしいお仕事をされているのはご承知の通りです。これは先の「不幸の原因を取り除くところに幸せがある」という考え方に基づいたものだと思います。私も敬意を持って見習っていきたいと思っています。

しかし後者のインド人のものの考え方も軽視することはできません。なぜならこの娑婆において、不幸の原因がなくなることは決してないからです。すべての不幸の原因を取り除いていって初めて幸せが実現すると言うのなら、幸せはいつまでも実現し得ないことになってしまいます。

仮に、一時的に不満がなくなり満ち足りることがあったとしても、私の欲望にはキリがありません。限りなく増長するばかりで、不平不満愚痴が絶たれることはないでしょう。また、得たものを失ってしまうのではないか、そうならないためどうしたらよいだろうか、と追い詰められっぱなしでいるのが、私の人生の実際の姿かもしれません。そうすると、「幸せを感ずる心の眼が大事だ」という、インド人の考え方も頷かれます。

私の祖父は浄土真宗の僧侶でした。歳をとってから失明したため、勘が鈍く、晩年は何をするにも苦労していました。けれども、不思議な明るさがあったそうです。

人から「あんたは目が見えないのに暗さがない。どうしてか？」と聞かれた時、祖父はこう答えたそうです。「目が見えないのは不便だ。これは事実だから仕方がない。けれども不幸かと言ったらそうでもない。私は目が見えないから人の助けを受けないと、一日たりとも生きていくことはできないんだ。このごろ人様に助けら、支えられていることが深く感じられて、それが嬉しいんだ」。

「しかし、またこうも思うんだ。人に支えられ、助けられていたのは目が見えなくなってからだろうか？そうじゃないんじゃないか。ずっと前から人様に支えられていた。けれども、自分が頑張っているって思い上がりがあったからそれが見えていなかっただけなんじゃないか。そう思うと、目が見えていた昔と、目が見えていない今とだったら、私は今の方が幸せかもしれない。お参りの時、門徒さんに肩を借りて歩いている時などそんな風に感じるんだ」。こんなことを言っていたようです。

生老病死、愛別離苦（あいべつりく）、さまざまな困難があるのが娑婆世界です。大変な状況にあったとしても、幸せを感じる心の眼が開かれているかどうかで、私の生きる世界は全く違います。阿弥陀さまの教えを聞かせていただくなかで、苦労の中にも仏さまや人の恩を感じる心の眼が私の上に少しずつ開れていきます。浄土真宗の先人たちはこれを「仏さまのお育て」と呼び習わしてきました。

報恩講をお勤めします！
はじめてのかたもぜひ！！

今年は例年よりも遅い時期になりましたが、報恩講を厳修します！報恩講とは浄土真宗のお寺でもっとも大切な行事です。浄土真宗を開いた親鸞聖人のご生涯を尋ね、また聖人がお残しくださった御教えをお聞かせいただく大事な大事なご縁です。ご門徒の皆さまには本当は是非全員お参りいただきたい行事です。

日程：12 月 12 日（日）13:30 - 15:15
13 日（月）13:30 - 15:15
1 日だけのお参りも大歓迎です！

法話：藤澤彰祐 師
（本願寺派布教研究専従職員
滋賀・浄光寺）

報恩講って こんな内容の法要です！

⓪まずは本堂にお参り
受付は特にありません。気楽にお参りください！

①住職から挨拶

②真宗宗歌 or しんらんさまの歌を歌う♪
ご存知なければ聞いていただくだけで大丈夫です！

③お経（正信偈）の拝読 (30 分くらい)

④前席：先生のお話を聞く (30 分くらい)

⑤休憩：お茶とお菓子をどうぞ (10 分くらい)
住職のミニピアノコンサートがあったりします。

⑥後席：先生のお話を聞く (30 分くらい)

⑦恩徳讃を歌う♪

今度のご講師 彰祐さん

今年はご講師に藤澤彰祐師（滋賀・浄光寺）をお招きします！住職の後輩でまだお若い先生ですが、大変精力的に活動されているナイスガイです！彰祐さんはインターネットラジオ番組「仏ぶつラジオ」を月に 2 回 youtube や spotify で配信しています。住職も娘の保育園の送り迎えの時に聞いていますが、とっても良い番組ですので紹介します。

ネットラジオ 「仏ぶつラジオ」

特技は子どもと真剣に遊ぶこと、というショーユーさんと、Twitter の片隅で仏教ラブを叫ぶメグルさんが、仏教について、いろんなテーマでぶつぶつとお話ししている番組です。

超ゆるい内容の回から、仏教の本質ズバリの回まで、肩肘張らずに等身大で語る二人の姿がとっても素敵です。聞いているともっと仏教について深く知りたくなったり、「ああ、私が苦しい原因ってこれだったのかな？」とか、「こんなこと思うの私だけじゃなかったんだ」とか、いい感じの気付きがたくさんありました！よかったら皆様も是非どうぞ！

親鸞聖人（1173~1263）

浄土真宗がおもしろくなるフリーペーパー「ののさま vol.33」に仏ぶつラジオが特集されていました。「フリーペーパーののさま」は浄土真宗の若手僧侶たちによる情報マガジンで、3 ヶ月に 1 度発行されています。

インターネットで「フリーペーパー ののさま」と検索するとヒットしますし、正覚寺でも読むことができます。お参りの際にどうぞ！

ショーユー
浄土真宗の僧侶。こどもと関わる活動をしている。人生の師匠はこども。

メグル
Twitter で仏教への熱い想いを叫んでいる。“お寺に好き！”が全部詰まっている。

仏ぶつラジオとは…
浄土真宗の僧侶ショーユーと、仏教ラブのメグルがお送りするネットラジオ。
毎月第 1、第 3 金曜日の 20 時 00 分に YouTube や各種 Podcast で公開中。

目で楽しむ ショーユー・メグルの 仏ぶつラジオ

ショーユーさん ショーユーさん！実は私、「仏さまはいますよ！ 今もここにおられるんじゃないかな。

仏さまはいますよ！ 今もここにおられるんずっとモヤモヤしてたんです。

法話でよく仏さまの話をしますよね？「へぇ～」と聞かせてもらうんだけど、なんだかファンタジーの世界みたいで…。「そばにいますよ！」と言われても、「え？どこに？」ってなっちゃう。

なんて正直な！（笑） でもそれってすごく大事なことだと思います。

よく「阿弥陀さまは私とご一緒」とか「私の悲しみを知ってくださってる」って言うじゃないですか。そこがね～…。「どうして～??」ってなっちゃってモヤっとしちゃう（笑）。

わかる！ 僕もそうでした。

え!? ショーユーさんもですか？ よかった～。私だけじゃなかった！

僕もそうだったんですけど、仏さまや悟りの世界を聞くうちにじわじわと「ほんまやなー」って、すーっとうなづけるようになってきました。

あ!!! その感じはなんかわかる！私もご法話聞くようになって、少しずつだけど、「あ、そうか！」と気づくことがあったりして、ちょっとわかったような気持ちになるんです。って言っても、一瞬そんな気持ちになるだけで、何がわかったのかはすぐ忘れちゃうんだけど（笑）。

うんうん。法話を聞くことでわかることが増えていきますけど、それ以上にわからないことがもっともっと増えますよね。「見えてなかった世界の広大さを知らされる」と言った方がいいのかな？ 聞いても忘れちゃうってのもほんとにそう（笑）。

そっか～。仏さまが居るか居ないかにすっごくこだわってたんだけど、それよりも「仏さまに育てられてる」ってことの方がわかるかも！ ご法話聞くようになってめちゃくちゃ自分が変化してるから、「育てられてる～」って実感はある!!!

そうなんです！ 理屈じゃなくて、実感なんですよね！

それもわかるな～。仏さまって自分が悟っているだけじゃなく、まだ悟っていない人を悟りに導く存在なんです。今の僕たちも導かれていて、育てられているんです。だから僕は、自分の変化の中に仏さまを感じるんですよね。仏さまが育ててくださってるんやなーって。

うわ!! 私はご法話を聞きながらのお念仏ってまだ声にならないです！ 口の中でモゴモゴするのが精一杯（笑）。でも、まわりからお念仏が聞こえたらなぜかホッとしちゃいます。

僕は最初、法話が楽しいだなんて思ったことがなかったし、仏さまのことを考えることさえありませんでした。そんな僕がうなづきながら仏法を聞くようになってたんですよね。そしていつの間にか、有り難いなあってお念仏申すようになってました。

それ!!! ちょっとわかったような気持ちになるけど、同時にわからないことにも気がつくんです。それがどんどん増えてくるから、やっぱりずっとわからない…。でもわからなくてもなんか楽しくて、ご法話は聞いちゃう!!!

仏ぶつラジオはこちらから↓
YouTube
https://www.youtube.com/c/ButsuButsuRadio